

地域課題の解決に向けた取組

幌加内町との森林整備協定による 森林整備推進の取組

空知森林管理署 北空知支署

【はじめに】

空知森林管理署北空知支署は、深川市、沼田町、北竜町、雨竜町および所在する幌加内町の1市4町にわたる約6万7千ヘクタールの国有林を管理しています。一方、北空知地域の市町では市町有林の面積が比較的小さく、まとまった森林整備を進めにくいことから、これまで国有林との連携による取組はあまり進んでいませんでした。

このような中、幌加内町から「国有林に隣接する町有林の整備を進めるため、国有林内に作業道を開設したい」との相談があり、森林整備協定の締結に向けた検討を開始しました。協定締結による路網の相互利用など、双方のメリットを生かした取組について、現地踏査や振興局を交えた協議を重ねた結果、令和6年12月に「幌加内町ほろたち地域森林整備推進協定」を締結しました。



細川幌加内町長と北空知支署長による協定締結式

【地域の森林の状況・課題】

森林整備協定の対象となる幌加内町ほろたち地域には、森林整備を必要とする町有林が約20ヘクタールあります。しかし、木材を搬出するための林道が整備されていないため、間伐等を実施しても伐採木を輸送トラックで搬出できない状況がありました。その結果、適切な間伐等が行われず、立木が過密となり、林内が暗く混み合った状態となっています。

また、隣接する国有林の奥地にも間伐等の施業が必要な人工林が多く存在しますが、複雑な地形

や急傾斜地のため、山腹部への路網整備が進んでいません。

このように、町有林と国有林の双方において路網不足が森林整備の大きな制約となっており、幌加内町ほろたち地域全体の森林整備の停滞を招いています。



(上)幌加内町の民有林林道
「長留内ほろたち線」起点の看板
(下)「長留内ほろたち線」から
国有林への分岐点。
(右側が国有林へ接続予定)



【協定締結による相乗効果】

現在、町有林側では国有林への接続を予定している地点までの作業道整備が完了していますが、路網全体としては整備途上の段階です。

今後、町有林と国有林が相互利用できる路網が整備されることで、町有林の森林整備が促進されるとともに、木材の効率的かつ円滑な搬出が可能となります。さらに、町有林側の林道から国有林へアクセスできるようになれば、地盤の安定した尾根筋を活用した効率的な路網ルートを選定が可能となり、これまで整備が困難であった国有林奥地の森林整備にもつながります。この森林整備協定は、町有林と国有林の双方にメリットをもたらし、地域全体の森林整備を推進する大きな効果が期待されています。

【今後の地域林業を展望する】

今回の協定締結は、北空知支署における2例目の森林整備協定となりました。

今後も林政連絡会議や市町村林務担当者との意見交換・情報共有を通じて地域の課題や現状を把握しながら、国有林が協力できる各種制度や取組メニューを提案し、国有林と民有林が連携した「民国連携」の森林づくりを推進していきます。